

2023年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年5月8日
東

上場会社名 マークラインズ株式会社 上場取引所
 コード番号 3901 URL <https://www.marklines.com>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 酒井 誠
 問合せ先責任者(役職名) 取締役 管理部長 (氏名) 坂井 建一 (TEL) 03-4241-3901
 四半期報告書提出予定日 2023年5月11日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2023年12月期第1四半期の連結業績(2023年1月1日~2023年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期第1四半期	1,275	6.8	527	19.1	525	18.6	374	20.9
2022年12月期第1四半期	1,194	21.9	443	35.3	443	33.4	309	41.9

(注) 包括利益 2023年12月期第1四半期 393百万円(23.2%) 2022年12月期第1四半期 319百万円(18.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年12月期第1四半期	28.32	28.29
2022年12月期第1四半期	23.42	23.40

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年12月期第1四半期	6,261	4,447	71.0
2022年12月期	6,096	4,437	72.8

(参考) 自己資本 2023年12月期第1四半期 4,447百万円 2022年12月期 4,437百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年12月期	—	0.00	—	29.00	29.00
2023年12月期	—	—	—	—	—
2023年12月期(予想)	—	0.00	—	34.00	34.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年12月期の連結業績予想(2023年1月1日~2023年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,400	16.1	920	18.3	920	17.1	630	15.0	47.67
通期	5,000	21.2	1,900	17.0	1,900	17.1	1,300	14.1	98.38

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) - 、除外 一社(社名) -
 期中における重要な子会社の異動に関する注記

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用に関する注記

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
 ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

会計方針の変更に関する注記

- (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年12月期1Q	13,215,200株	2022年12月期	13,215,200株
② 期末自己株式数	2023年12月期1Q	442株	2022年12月期	442株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2023年12月期1Q	13,214,758株	2022年12月期1Q	13,210,669株

発行済株式数に関する注記

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理性があると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、P4「(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(会計方針の変更)	9
(セグメント情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは当第1四半期連結累計期間（2023年1月1日から2023年3月31日まで）において成長戦略に挙げたテーマに取り組んでまいりました。

「情報プラットフォーム」事業については、営業体制の強化も進み、2023年3月末営業人員は36名（前年同期29名）となりました。1月に昨年同様「オートモーティブ ワールド」に出展し、直接対面営業を実施、EVに関心のある多くのお客様へ弊社サービスをアピールしました。3月には無制限契約へのアカウントアップを割引提供するキャンペーンを実施し、期末需要を取り込みました。コンテンツ面においては、電動化の潮流を受けて、世界のEV化の動向をわかりやすく説明するEV販売月報が好評で、テレビ番組や新聞紙面（10数紙）へのデータ引用もあり、売上拡大に相乗的な効果がありました。また、世界各国で開催される展示会を取材し情報を増強したことや、自動車の進化をソフトウェアが担うソフトウェア・ディファインド・ビークル（SDV）に関するレポートも時宜を得て提供を開始しました。これらの結果、契約社数は前連結会計年度末から139社増加（前年同期126社増加）し4,799社となりました。

分解調査データ販売事業においては、レポートのラインアップが増えたことから、順調に推移し、売上高は、大きく伸びた前年同期とほぼ同水準になりました。コンサルティング事業については、EV関連情報への関心が高く、技術動向調査やコスト分析関連の売上が順調に推移しました。車両・部品調達代行事業においては、当第1四半期連結会計期間における受注は好調に推移したものの、前連結会計年度との比較で期初受注残高が減少した影響により売上高は前年同期比で減少しました。人材紹介事業においては、小型の案件が多く、売上高、利益ともに前年同期に及びませんでした。プロモーション広告事業(LINES)については、売上の過半をリピーターが占める中、展示会での営業活動が奏功し、売上、利益ともに前年同期を上回る結果となりました。LMC Automotive Ltd. 製品(市場予測情報)販売事業については、契約更新企業75%を維持する中、生産台数パワートレインの予測情報の売上が堅調に推移しました。自動車ファンド事業については、各組合員から受け取る管理報酬の内、当社比率に応じた額を売上高として四半期ごとに計上しております。

この結果、当社グループの当第1四半期連結累計期間における業績は売上高1,275百万円（前年同期比6.8%増加）、営業利益は、527百万円（前年同期比19.1%増加）、経常利益は、持分法による投資損失5百万円を計上したこと等から525百万円（前年同期比18.6%増加）、親会社株主に帰属する四半期純利益は、374百万円（前年同期比20.9%増加）となりました。

各セグメント毎の経営成績は以下の通りであります。

なお、当第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を一部変更しており、当第1四半期連結累計期間の比較・分析は、変更後の区分に基づいています。

○ 事業セグメント別損益 (連結ベース)

		前第1四半期 連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年3月31日) (百万円)	当第1四半期 連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年3月31日) (百万円)	増減率 (%)
「情報プラットフォーム」事業	売上高	614	730	+18.9
	セグメント利益	357	452	+26.6
分解調査データ販売事業	売上高	133	131	△1.1
	セグメント利益	63	60	△4.0
コンサルティング事業	売上高	138	161	+16.7
	セグメント利益	34	52	+51.9
車両・部品調達代行事業	売上高	181	127	△29.6
	セグメント利益	35	26	△26.6
人材紹介事業	売上高	53	45	△13.9
	セグメント利益	22	18	△15.8
プロモーション広告事業	売上高	18	19	+7.8
	セグメント利益	16	17	+3.8
LMC Automotive Ltd. 製品 (市場予測情報) 販売事業	売上高	46	48	+6.0
	セグメント利益	13	15	+16.6
自動車ファンド事業	売上高	9	9	+0.3
	セグメント利益	0	1	+204.8
売上高 計		1,194	1,275	+6.8
セグメント利益 計 ①		543	644	+18.6
部門共通費 ②		△100	△116	-
営業利益 計 ①-②		443	527	+19.1

- 「情報プラットフォーム」事業：売上高730百万円(前年同期比18.9%増加)、セグメント利益(営業利益)452百万円(前年同期比26.6%増加)

当第1四半期連結累計期間における「情報プラットフォーム」契約社数は前連結会計年度末から139社増加(前年同期126社増加)の4,799社となりました。販売単価が上昇傾向になる中、2019年入社以降の新卒社員の営業力が整ってきたことから契約純増社数も前年同期を上回り、特にアジア、北米地域において前年同期比30%を超える伸びとなりました。

○ 「情報プラットフォーム」事業地域別売上高

地域	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年3月31日) (百万円)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年3月31日) (百万円)	増減率(%)
日本	287	312	+8.6
中国	104	125	+19.2
アジア	90	122	+34.9
北米	62	84	+35.0
欧州	64	81	+25.5
その他	3	4	+26.6
合計	614	730	+18.9

- 分解調査データ販売事業：売上高131百万円(前年同期比1.1%減少)、セグメント利益(営業利益)60百万円(前年同期比4.0%減少)

当第1四半期連結累計期間における分解調査データ販売は、フォードF150(EVピックアップトラック)のレポート販売が好調であったことに加え、旺盛なEV情報への関心から、モーター、インバーター関連の分解データ販売や

内製レポートが堅調に推移しました。

- コンサルティング事業：売上高161百万円(前年同期比16.7%増加)、セグメント利益(営業利益)52百万円(前年同期比51.9%増加)

当第1四半期連結累計期間のコンサルティング事業は、大手自動車メーカーからの大型受注があり売上が伸長しました。また、EV化への潮流により、売上の約6割がEV関連部品の技術動向やコスト分析調査等の電子電装関連調査となりました。外注価格の見直しにより営業利益が改善され、前年同期比51.9%の増加となりました。

- 車両・部品調達代行事業：売上高127百万円(前年同期比29.6%減少)、セグメント利益(営業利益)26百万円(前年同期比26.6%減少)

当第1四半期連結累計期間における車両・部品調達代行事業は、期初受注残が78百万円と前期と比較して約64百万円減少した影響を受け売上高は前年同期比29.6%減となりました。一方、当第1四半期連結会計期間の受注が前年同期比41.6%増と好調に推移したことから、同四半期連結会計期間末の受注残高は60百万円(前年同期比67.3%増加)となりました。

- 人材紹介事業：売上高45百万円(前年同期比13.9%減少)、セグメント利益(営業利益)18百万円(前年同期比15.8%減少)

当第1四半期連結累計期間の人材紹介事業は、成約件数26件(前年同期25件)となりました。前年同期と比較して、成約件数は横ばいでしたが、高額案件が少なかったことから、売上高、営業利益ともに前年同期を下回る結果となりました。

- プロモーション広告事業(LINES)：売上高19百万円(前年同期比7.8%増加)、セグメント利益(営業利益)17百万円(前年同期比3.8%増加)

当第1四半期連結累計期間のプロモーション広告事業は、トップページからの資料ダウンロードが増え、展示会での営業も行った結果、1月から3月までの受注高が前年同期比26%アップとなりました。また、継続的な顧客へのフォローアップも奏功し52%の企業がリピーターとして利用し、売上、利益ともに前年同期を上回りました。

- LMC Automotive Ltd. 製品(市場予測情報)販売事業：売上高48百万円(前年同期比6.0%増加)、セグメント利益(営業利益)15百万円(前年同期比16.6%増加)

当第1四半期連結累計期間のLMC Automotive Ltd. 製品(市場予測情報)販売事業は、75%の顧客が契約を継続するなど高い更新率が続き、売上は前年同期を上回る結果となりました。また、セグメント利益は固定費負担の減少から、前年同期を2桁上回る結果となりました。

- 自動車ファンド事業：売上高9百万円(前年同期比0.3%増加)、セグメント利益(営業利益)1百万円(前年同期比204.8%増加)

当第1四半期連結累計期間の自動車ファンド事業は、2月に第二号投資案件で、海外投資第一号案件として投資額1百万USドルを実行いたしました。弊社の多様なビジネスの機能(コンサルティング、人材紹介、ウェブマーケティング)を活用し、ハンズオンによる成長支援を行ってまいります。管理費用の見直しから営業利益(前年同期営業利益0百万円)を計上しました。

(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年2月9日に公表しました2023年12月期の通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,752,630	4,527,755
売掛金	313,815	425,497
商品	10,039	8,195
仕掛品	874	1,580
前渡金	31,527	22,723
前払費用	29,676	27,499
その他	8,343	17,527
貸倒引当金	△3,118	△4,165
流動資産合計	5,143,788	5,026,611
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	26,944	27,011
減価償却累計額	△8,222	△8,812
建物及び構築物(純額)	18,722	18,198
土地	348,997	366,997
その他	50,562	52,206
減価償却累計額	△40,827	△41,824
その他(純額)	9,735	10,382
有形固定資産合計	377,455	395,578
無形固定資産		
ソフトウェア	25,423	30,237
その他	8,130	8,224
無形固定資産合計	33,553	38,461
投資その他の資産		
投資有価証券	395,345	658,271
破産更生債権等	752	752
長期前払費用	604	217
敷金及び保証金	98,289	98,696
繰延税金資産	47,786	43,702
貸倒引当金	△752	△1,152
投資その他の資産合計	542,025	800,487
固定資産合計	953,034	1,234,527
資産合計	6,096,822	6,261,139

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	77,803	163,355
未払金	14,207	65,672
未払費用	42,552	38,621
未払法人税等	266,715	153,866
未払消費税等	46,543	59,961
前受金	1,159,956	1,251,315
役員賞与引当金	11,000	3,250
預り金	20,731	15,925
賞与引当金	12,151	52,929
その他	44	660
流動負債合計	1,651,705	1,805,558
固定負債		
退職給付に係る負債	7,949	8,496
固定負債合計	7,949	8,496
負債合計	1,659,654	1,814,055
純資産の部		
株主資本		
資本金	371,351	371,351
資本剰余金	289,158	289,158
利益剰余金	3,751,539	3,742,550
自己株式	△784	△784
株主資本合計	4,411,265	4,402,276
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△12,213	724
為替換算調整勘定	38,115	44,082
その他の包括利益累計額合計	25,902	44,807
純資産合計	4,437,168	4,447,083
負債純資産合計	6,096,822	6,261,139

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2022年1月1日 至2022年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2023年1月1日 至2023年3月31日)
売上高	1,194,355	1,275,404
売上原価	491,490	468,073
売上総利益	702,864	807,330
販売費及び一般管理費		
販売促進費	7,008	6,646
販売手数料	144	-
広告宣伝費	3,957	3,411
役員報酬	14,184	13,435
給料及び手当	102,877	115,781
賞与引当金繰入額	21,965	25,014
退職給付費用	2,355	2,861
法定福利費	19,558	23,027
減価償却費	1,654	2,295
貸倒引当金繰入額	2,171	1,446
賃借料	17,467	17,495
その他	66,376	68,037
販売費及び一般管理費合計	259,721	279,452
営業利益	443,142	527,878
営業外収益		
受取利息	1,221	1,531
受取配当金	2,163	2,426
為替差益	1,730	-
その他	595	1,012
営業外収益合計	5,711	4,970
営業外費用		
持分法による投資損失	5,219	5,722
為替差損	-	1,183
その他	221	0
営業外費用合計	5,440	6,906
経常利益	443,413	525,941
税金等調整前四半期純利益	443,413	525,941
法人税、住民税及び事業税	137,238	153,329
法人税等調整額	△3,274	△1,625
法人税等合計	133,964	151,703
四半期純利益	309,448	374,238
親会社株主に帰属する四半期純利益	309,448	374,238

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)
四半期純利益	309,448	374,238
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△7,936	12,937
為替換算調整勘定	17,490	5,967
その他の包括利益合計	9,554	18,904
四半期包括利益	319,003	393,143
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	319,003	393,143

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。なお、これによる四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2022年1月1日 至 2022年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					
	「情報プラットフォーム」事業	分解調査データ販売事業	コンサルティング事業	車両・部品調達代行事業	人材紹介事業	プロモーション広告事業
売上高						
外部顧客への売上高	614,288	133,177	138,429	181,160	53,060	18,459
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	614,288	133,177	138,429	181,160	53,060	18,459
セグメント利益	357,648	63,089	34,419	35,677	22,495	16,400
	報告セグメント			調整額(注1)	四半期連結損益計算書計上額(注2)	
	LMC Automotive Ltd. 製品(市場予測情報)販売事業	自動車ファンド事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	46,112	9,665	1,194,355	—	1,194,355	
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	
計	46,112	9,665	1,194,355	—	1,194,355	
セグメント利益	13,301	427	543,459	△100,316	443,142	

(注) 1. セグメント利益の調整額△100,316千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、各報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					
	「情報プラットフォーム」事業	分解調査データ販売事業	コンサルティング事業	車両・部品調達代行事業	人材紹介事業	プロモーション広告事業
売上高						
外部顧客への売上高	730,340	131,757	161,564	127,561	45,704	19,892
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	730,340	131,757	161,564	127,561	45,704	19,892
セグメント利益	452,902	60,587	52,285	26,183	18,939	17,030
	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)	
	LMC Automotive Ltd. 製品(市場予測情報)販売事業	自動車ファンド事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	48,890	9,692	1,275,404	—	1,275,404	
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	
計	48,890	9,692	1,275,404	—	1,275,404	
セグメント利益	15,509	1,303	644,742	△116,864	527,878	

(注) 1. セグメント利益の調整額△116,864千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、各報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

「ベンチマーキング関連事業」は、「分解調査データ販売事業」及び「車両・部品調達代行事業」の2事業から構成されておりましたが、それぞれの事業の量的・質的重要性が高まったことから、当第1四半期連結会計期間より報告セグメントを従来の「ベンチマーキング関連事業」から、「分解調査データ販売事業」「車両・部品調達代行事業」に変更しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成したものを記載しております。